

地域に生きづく国有地（7）もみの木保育園太子堂

（国有地は、国の庁舎等から地域に役立つ施設等に姿を変えて、地域貢献しています。）

もみの木保育園太子堂

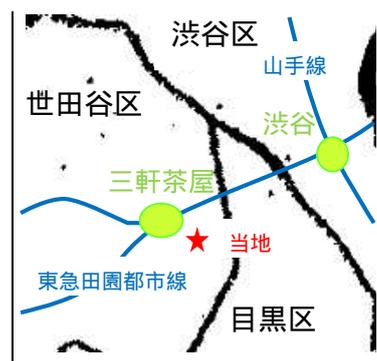
【東京都世田谷区太子堂 1-389-186 外 1,064.30㎡】



地域に開かれたブックカフェ



日光が降り注ぐ屋上園庭



《財産の沿革》

この地は、もと関東財務局太子堂宿舎でしたが、宿舎の廃止に伴い、財務局が跡地の利活用を検討する中、世田谷区より利用要望があり、保育園敷地として利用（定期借地制度による区への貸付後、社会福祉法人が整備・運営）いただくべく諸手続きを経て、平成23年7月12日付で契約したものです。

《施設の概要》

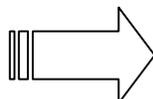
- ・平成24年4月1日開園、整備費2億7,600万円
- ・園児数、職員数・・・園児126名（定員）、職員36名
- ・運営主体・・・社会福祉法人 聖愛学舎
- ・コンセプト・・・キリストの愛と奉仕の精神による全人教育の実践を行い、こどもたち自身が尊き自己を発見し、それぞれに与えられた天分を将来に十分発揮するための土台づくりをお手伝いさせていただいています。

保育目標は「きれいな心」「よい頭」「つよい体」の光の子の育成です。

《地域への貢献・効果（担当の方への取材より）》

- ・（区の担当者）・・・世田谷区では出生率の増加等により待機児童が年々増加しており、東京23区の中で最も多い待機児童数（全国で4番目）を抱えています。特に本保育園を整備した周辺は区内で最も待機児童数が多い地域であるため、国有地を活用させていただき、100名規模の大きな保育園を整備することにより、待機児童減少につながることができました。
- ・（保育園の園長先生）・・・園内にブックカフェを併設して地域に開放したり、定期的にコンサート等を催し地域の方々を招くなど、地域との交流を大切にしています。また、これまでの保育理念を大切にしながらも、その時代のニーズにあった保育を行っていきたいと考えています。

当 時（平成23年頃）



現 在

